

# SEIAN

VOL.

# 1

発行日 | 平成25年9月17日

発行者 | 学校法人京都成安学園

編集・発行 | 学校法人京都成安学園 成安造形大学 広報室

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1

Tel. 077-574-2111(代表) Fax. 077-574-2120

E-mail. kouhou@seian.ac.jp Web. www.seian.ac.jp

写真 | Takeshi Asano, Takeshi Shinno

デザイン | Hiroshi Toyama



## 20th ANNIVERSARY

### テーマ=home

人は必ずいくつかの帰る場所(=home)を胸に抱いています。本学に学ぶ学生や多くの卒業生、教育・研究活動を行っている教職員にとって、大切なものを学び、忘れられない思い出や友情を育んだ成安造形大学は、それぞれの「home」であるはずで。

20周年を迎えるにあたり、開学から現在まで、一度はこの場に集い、共に学び、楽しみ、悩んだ多くの人たちが、今ここで成安を見つめなおしていただける機会になることを願い、「home」というテーマを設定しました。

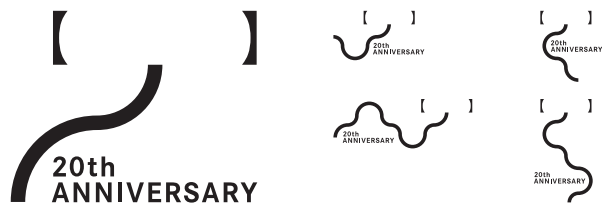
### 主な取り組み

「キャンパスが美術館」で春と秋の芸術月間「セイアンアーツアテンション」を開学20周年記念事業として開催。

2013年5月18日[土]には「成安ホームカミングデー2013」として大学・短大同窓会、教育後援会などの外郭団体の総会、レセプションパーティーなどの記念イベントを実施しました。また、2013年10月26日[土]には、開学20周年記念式典を開催し、その後、開学20周年記念レセプションを開催します。また、食堂棟をリニューアルして食堂・購買サービスの充実や多目的スペースとしての快適性や利便性を向上させます。

### ロゴマークを作成

成安造形大学のキャラクターアイテムである【 】(空)と、20周年のテーマである「home」をコンセプトとして、卒業生のデザイナーと記念ロゴマークを作成しました。ロゴはバリエーションをつくり、道の部分を自由に伸ばすこともできる可変的なものです。



## 成安ホームカミングデー 2013

成安造形大学開学20周年の記念事業として、5月18日[土]、「成安ホームカミングデー 2013」と名付けられた、大きなイベントが開催されました。

開学20周年のテーマは「home」。大切なことを学び、忘れられない思い出や友情を育んだ「学び舎」は、自分が育った故郷(=home)であると設定し、開学20周年記念のこの日、共に学び、楽しみ、悩んだ卒業生、在學生、教職員が一堂に集まりました。

当日は基幹事業である、2013春の芸術月間セリアンアートアテンションVOL.4「RELATIONS|つながる出来事がつくること」のオープニングイベントも合わせて開催され、500名を超える来場者がありました。

展示会の他、「先輩から学ぼう」と題された企画では、社会の第一線で活躍する卒業生13名を講師に迎え、後輩たちに、様々な経験談をふまえて、熱いメッセージが投げかけられました。

「ギャラリーピクニック」では、授業を通して「キャンパスが美術館」の運営に携わる在學生が、当日開催されている展示会を軸にしてツアーを企画。たくさんの来場者が学生とともに各ギャラリーを巡りました。

そして、日ごろ、地域連携プロジェクトでお世話になっている地元公共団体や企業、諸団体の皆さまを招待し、意見交換を行なった「ホームタウンサミット」、地元の野菜や伝統食を振る舞う「ホームタウンバザール」、学生が考案した大津祭のキャラクター「ちま吉」グッズ販売、附属近江学研究所の研究として制作した「仰木ふるさとカルタ」のカルタ会など盛りだくさんの企画が開催されました。大きなテントが張られた芝生グラウンドとカフェテリア「結」は好天にも恵まれ、夜遅くまで熱気に包まれました。

「毎年こんな企画があれば…」と、このイベントが開学20周年を機に定着することを望む声が多く聞かれました。



01 昼のパーティーのケータリング「粒粒」  
02 夜のパーティーのケータリング「イクラ食堂」  
夜のライブパフォーマンス「Inax」

03 在學生によるギャラリーピクニックの様子  
04 ホームタウンバザール「仰木ふるさい青空市」

05 ホームタウンバザール「仰木ふるさい青空市」  
06 卒業生トークイベント「先輩から学ぼう」  
出張シルクスクリーンの様子

07 卒業生が関わった大学案内の展示風景



開学20周年記念事業 | 2013春の芸術月間

SEIAN ARTS ATTENTION VOL.4

「RELATIONS」つながる出来事がつくること

会期 | 2013年5月18日[土]— 6月16日[日]

会場 | 成安造形大学【キャンパスが美術館】

総入場者数 | 約3600人

主な参加作家 | イクラ食堂, 今森光彦, intext, 瓜生祐子, 田中秀彦, 粒粒, ばうみみ, 花田恵理, 西武アキラ, niwa, 益永梢子, 森 公一・二瓶 晃・真下武久

比叡山を背景に、琵琶湖を臨めるキャンパスそのものを回遊式の「美術館」に見立てた「キャンパスが美術館」。セリアンアーツアテンション\*は、そのメイン企画として年2回行われる総合芸術祭です。VOL.4となる今回は、総合テーマを「関係性／RELATIONS」として、創作における様々な関係性にかかわる活動に注目しました。また、開学20周年によるテーマ「home」とも絡ませ、出品作家には、第一線で活躍する本学の卒業生を中心に招聘。その他に在学生や教員も含めながら、多様な形態の展覧会やそれに関連する多彩なワークショップ、アートイベントを行いました。成安造形大学の「キャンパスが美術館」は、これからも芸術や美術に対して同時代的な視点を持ちながら、新進気鋭の作家、在学生、卒業生、地域の皆さまとともに、様々な創造活動を展開していきます。\*Attention | 注意、注目する

[主な展覧会紹介]

### 01. 「E-motion」

会場 | ギャラリーアートサイト

本作のテーマは「情動=人間の喜怒哀楽」。情動はどのように起こるのか？を、メディアアートと脳神経科学の融合によって解き明かそうとする研究プロジェクトの実験的な展示。2009年より共同研究プロジェクトを継続している。本展の主なメンバー | 森 公一, 二瓶 晃, 真下武久 (本学メディアデザイン領域教員) 助成 | 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「鑑賞者の情動反応に基づくメディアアート表現の可能性の探求」

### 02. 「instant cosmic / インスタント コスミック」

会場 | ライトギャラリー

インディペンデントな冊子を、発表・発信の場所のひとつとしてとらえている作家たちが、異なる環境、国や街を越え、その場を介して交わった個々の関係を紹介。ドイツ、フィンランド、アメリカ、日本から作家が参加し、会場では印刷物を選び、鑑賞者がその場で自由に本を作ることができた。企画は、本学の卒業生である、すずきあいと渡邊真由のユニット「niwa」によるもの。

### 03. 「主張する衣服展 ～ファッションからコスチュームへ～」

会場 | G棟103

本展では、アーティストの手から生み出される一点ものの服飾作品を取り上げ、消費されるファッションに端を発し、表現体としてのコスチュームへと変化する様々な衣服を展示することで、人間が纏う衣服の広くて深い可能性を探った。企画は、成安造形短期大学服飾文化学科服飾芸術コースを卒業し、2012年度より本学空間デザイン領域の教員である田中秀彦によるもの。



[2013秋の芸術月間の情報]

開学20周年記念事業 | 2013秋の芸術月間 SEIAN ARTS ATTENTION VOL.5 「Sites —ふうこうのありか—」

会期 | 2013年10月26日[土]— 12月1日[日] 32日間 (11月11日[月]— 15日[金]休館)

会場 | 成安造形大学【キャンパスが美術館】

Vol.0から数えて、今年の秋で6回目となる本企画は、私たちがあらゆる状況の中で、常に関わっている場所を多義的に解釈しながら、場所の持つ情報を独自のアプローチで汲み取って制作している作家や、場所が持つ特有の状況そのものを取り込んで作品化する作家など、場所性(地域、風土、住処、身体など)を要素に含めながら、それらとの関係を構築して創作活動を展開する作家やグループを取り上げます。

「皇子が丘コンクリート遊具再生プロジェクト」

大津市の小高い丘の上にある皇子が丘公園には、機関車と飛行機の形をした大きなコンクリート遊具があり、昭和40年代につくられてから今まで多くの人たちに愛されてきました。しかし、その遊具も色あせが目立ち、公園を管理する(公財)大津市公園緑地協会と本学が協力し、遊具のリニューアルに取り組ましました。

学内のコンペで採用された2人の学生を中心に、地元の小学生が夏休みを利用して遊具の色塗り作業に取り組み、見違える程素晴らしい機関車と飛行機が完成しました。この塗り替えられた新しい遊具の存在により、公園全体が明るくなり、公園にやってくる子供たちは自然に遊具の周りを走り出すようになったと聞きます。この他にも「芸術による社会への貢献」を目指し、地域社会と学生を結ぶ地域連携推進センターでは「ものづくり」を通して地域を元気にするプロジェクトに取り組んでいます。



「仰木ふるさとカルタ」完成

このカルタは、成安造形大学附属近江学研究所の研究プロジェクト「生活文化の聞き取り調査、及び、仰木ふるさとカルタ制作」として、2011年から2年間、永江弘之研究員(本学イラストレーション領域教員)を中心に研究員と学生スタッフ12名で取り組みました。滋賀県大津市仰木地区の老人クラブ連合会の協力を得て、60歳から90歳代を対象に「仰木ふるさと五感体験アンケート」や、菓細工や納豆餅づくりなど体験を含めた聞き取り調査を行い、それをもとに仰木の方と48の言葉を選び出し、学生が絵札を描き、いろはかるたを制作しました。カルタの話題は新聞・テレビを中心に多くのマスコミに取りあげられ、地元以外の地域からもカルタを購入したいとの問い合わせがありました(本学ミュージアムショップにて販売中)。カルタには仰木にのみに伝わる懐かしい思い出もあれば、どこの地域でも共通する普遍的な慣習も描かれています。このカルタをきっかけに、忘れてはならない大切な記憶を次世代の子供たちが遊びを通じて体感してくれれば、それが研究所の最大の研究成果と言えるでしょう。



公開講座

今森光彦「ニッポンの里山」

6月15日[土]、特別公開講座「ニッポンの里山」と題して、写真家として国際的に活躍される今森光彦本学客員教授にお話いただきました。今森教授は都市と手つかずの自然空間との中間点に人間と自然が共存するエリアが存在し、それを「里山」と概念づけ、長年にわたり研究を続けてこられました。その里山の代表とも言える仰木にアトリエを構え、1995年に新潮社から出版された「里山物語」という写真集によって「里山」が世界から注目されるようになりました。

近年は、NHKとの共同プロジェクトとして、日本各地にある全国の里山を訪ねる番組「ニッポンの里山 ふるさとの絶景に出会う旅」を監修され、人と生き物が共存する「里山」を美しい映像で紹介されています。今回の特別公開講座では、今森教授が取材された全国の里山の中から特に興味を持たれた20ヶ所について、写真を中心に解説されました。屋久島の杉や阿蘇の放牧、新潟十日町の棚田、伊勢の神域である照葉樹林など、全国的に知られる里山を中心に絶景ポイントが紹介され、撮影時の貴重なエピソードなども織り込みながら、これらの風景を残すための努力も必要であるなど、環境保護の問題点も指摘されました。会場内に映し出された美しい映像は、今森教授が撮影された未公開のもので、映像が変わるたびに会場から歓声とも聞こえるどよめきがおこりました。里山は人とともに多様な生物を育む環境を備えた持続可能な空間であり、単なる美しさだけでなく、その機能を十分に理解した上で、次世代に継承していかなければならないと改めて感じました。

今回、今森教授は、開学20周年の基幹事業である「キャンパスが美術館」の「RELATIONS|つながる出来事がつくること」の中で「人・自然・交わり 今森光彦里山写真展」と題された展覧会に自らの作品を出品されました。講演会当日、この展覧会は多くの観覧者で賑わいました。



## 第21回 成安造形大学大学祭「響心祭」

今年も成安造形大学大学祭「響心祭」を10月13日、14日に行う事になりました。「響心祭」には学生と来場者が一緒に盛り上がることのできる露店、成安生の個性あふれる作品を集めた展覧会など、ユニークなイベントが盛り沢山です。「響心祭」にお越しいただいた方々に「来てよかった」「楽しかった」と思ってもらえたら光栄です。多くの方々のご参加、ご来場を心よりお待ちしております。

平成25年10月13日[日] / 14日[月・祝] 12:00-20:00  
成安造形大学 大学祭実行委員会 一同

【企画内容(一部)】

### 露店企画「音パレード」

学内から飲食店とフリーマーケットをあわせて約90店舗、出店します。さまざまな音でにぎわう飲食店では露店コンテストも行います。興味を魅かれた店舗にぜひ投票してください。

### 展覧会企画「せいあんせい ちょうさずかん」

会場全体を一冊の図鑑に見立てた展覧会「せいあんせい ちょうさずかん」を行います。出展者の個性溢れる作品をぜひ見に来てください。

\*当日は、お車でのご来場はご遠慮下さい。JR湖西線「おごと温泉」駅からスクールバス(無料)をご利用下さい。



## 理事長挨拶

この4月より、近藤功前理事長の後任として、理事長に就任いたしました小林と申します。より良き学園とすべく、皆さんと力を合わせ努めて参りますので、宜しくご支援、ご協力の程、お願いいたします。

私自身の経験は、ベンチャーとして、オプテックス株式会社やFM滋賀などの起業を主にやってきましたが、芸術や教育と言った方面は本学園とご縁で初めて携わる分野です。発想やアイデアで、少しは貢献させて頂けるとは思いますが、皆さんのお助けがあってこそ、成果に繋がるものと思っております。

さて、着任早々ではございますが、より良き学園とすべく想いの一端を紹介させて頂きます。

## 1. 地域との連携

教職員、学生の総合力により、地域のニーズに応える。企画力、デザイン力、発信力を活かし、また、学園の知財である近江学研究所や社会貢献・地域連携の実績を活用して、例えば観光産業の育成など社会イノベーションの創出に寄与する過程で、学生の実践力を高め、大学のプレステージを高める。

## 2. 先輩方との連携

実社会において活躍されている先輩方と学生との融合を深め、WIN-WINの関係を強める。産学連携として大学のキャンパスを利用することや、インターンシップをとらして学生の能力を活用頂くことにより、学生の就活力を高める。

## 3. 学生への支援

学生の創作意欲を高めるためのインセンティブについて、学生の作品の入札による購入などを検討し、学生への経済的支援と意欲の向上を図る。

上記以外にも、いろいろな想いがありますが、実行に際しては、皆さんとの協議、コンセンサスのもとで進めて参りたいと思っております。

今後も、学園、大学そして幼稚園を良くするために、各種の施策を導入して参りたいと思っておりますので、保護者のみなさん、そして先輩方におかれましては様々な視点からのサジェッション、ご意見を賜ることが出来れば幸いです。

大いに盛り上げる議論になるよう、宜しくお願いいたします。

平成25年9月 学校法人京都成安学園 理事長 | 小林 徹

## 成安幼稚園

## 平成24年度卒園式

平成24年度の成安幼稚園保育証書授与式を、平成25年3月21日[木]午前10時から成安幼稚園遊戯棟(ホール)にて挙行いたしました。上野智子園長から、第38期園児62名が保育証書を授与されました。その後、卒園児が最後となる合唱を行うなど、良き思い出となる卒園式となりました。卒園式には、聚英会の花山智久会長をはじめ多くのご来賓がご臨席されました。



## 平成25年度「せいあんまつり」を盛大に開催

成安幼稚園の恒例行事「せいあんまつり」を、平成25年度は7月6日[土]に開催いたしました。今年は、京都府私立幼稚園連盟の記念行事の関係で、秋の開催を変更いたしました。開会の午前11時前から多くの園児や保護者、近隣の方たちが詰めかけ、チケット売り場やバザー会場には、長蛇の列ができていました。

昨年度から、併設校である成安造形大学が連携して「出店」し、学生と職員が参加しています。今年度も、イラストレーション領域の学生4人が似顔絵コーナーを開設。次々に園児の顔を色紙に描いていました。また、学生の制作したトートバッグや小物類の販売も好評でした。

幼稚園と大学とは、「びっくりおもしろアート」や「園外保育」などで交流をしていますが、こうしたイベントに参加することでも連携を図ってまいります。



## 平成25年度入園式

平成25年度の成安幼稚園入園式を、平成25年4月11日[木]午前10時から、成安幼稚園遊戯棟(ホール)にて挙行いたしました。この日は、3歳児56名、4歳児5名、5歳児1名の62名が入園。担任の先生との初顔合わせとなりました。



ごあいさつ

皆様におかれましては、益々活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素より同窓会活動にご支援をいただきありがとうございます。

このたびは、成安造形大学が開学20周年を迎えました。おめでとうございます。先日は、ホームカミングデーでたくさんの方々とお祝いすることができ、これまでの同窓会ではあまり見なかった顔ぶれも多く、たいへん懐かしくて楽しいひとときを過ごすことが出来ました。今後もこうした親交の場をバックアップしたり、同窓会でも企画したりしていきたいと考えています。

また、こうした取り組みが今後の母校の発展につながればと思いますので、これからも皆様におかれましては、引き続き、ご支援のほどよろしく申し上げます。最後に、益々のご活躍をお祈りします。

成安造形大学同窓会 会長 | 川満真也

平成25年度 総会を開催

5月18日[土]、第1回目となる「成安ホームカミングデー2013」の開催に合わせ、「成安造形大学同窓会 平成25年度総会」を大学の生涯学習センターにおいて開催しました。総会では、大学から学長補佐の岡田修二教授にご出席頂いて、20周年を迎える大学の近況などを語って頂きました。3議案が審議され、第2号議案を一部変更することを除いて、いずれも役員会提案どおり承認されました。審議後の質疑応答では、出席した会員から議案にとどまらない自由な意見が出ました。詳細につきましては、別刷版「成安造形大学同窓会平成25年度総会報告」をご覧ください。



平成25年度総会議案

- 第1号議案 | 平成24年度事業報告・平成24年度決算報告
- 第2号議案 | 平成25・26年度役員改選(案)
- 第3号議案 | 平成25年度事業計画(案)・平成25年度予算(案)

平成25・26年度役員紹介

会長	川満真也	1997年卒	写真クラス
副会長	草木貴照	1997年卒	芸術計画クラス
	宇野君平	1998年卒	立体造形クラス
	田部井勝彦	2002年卒	映像クラス
監事	西川学歩	2000年卒	映像クラス
	谷口 愛	2003年卒	イラストレーションクラス
	上田香織	2003年卒	ファイバーアートクラス
委員	木全俊吾	2002年卒	立体造形クラス
	吉田周平	2004年卒	写真クラス
	明界要介	2005年卒	住環境デザインクラス
	脇本慎也	2005年卒	洋画クラス
	永尾美久	2005年卒	芸術計画クラス
	藤井俊治	2006年卒	洋画クラス
	山本拓朗	2007年卒	住環境デザインクラス
	大村大悟	2007年卒	彫刻クラス
	今井絵理沙	2008年卒	日本画クラス
	磯部実樹	2013年卒	日本画クラス

同窓会奨学基金設立から10年を振り返って

開学10周年の節目に設立された同窓会奨学基金は、教育後援会をはじめ、京の会などの各諸団体や、賛同をいただいた多くの方に支えられ、10年を迎えることができました。当時、単位取得はできていても学費が納入できず卒業できない学生がいるというお話を伺い、会として後輩のために何かできることはないかと思いを巡らせていました。

同窓会奨学基金という名前をいただいているのですが、卒業生も少ない、まだ若輩の同窓会だけでは、その思いを成し遂げることはできなかったと思います。この10年を振り返り、設立時の思いを忘れることなく、次の代、その次の代へとつながっていくことを願い、奨学基金のさらなる充実を図っていきます。

同窓会奨学基金の現状

同窓会奨学基金は、原則として、卒業は可能であるが学費が納入できない4年生を対象として貸与を行ってきました。ここ数年の傾向としては、2年生、3年生での希望者が増加をしてきており、貸与額も上限額での申込みが多くなってきているのが現状です。

審査時に学生本人及び保護者との面談、又は電話による意思確認を行うとともに、できる限り多くの学生に対応できるよう貸与額の決定を行っています。ただし心配なところは、奨学金は直接授業料に充当するためか、返還が滞っている学生が一部いるのも事実です。多くの方の善意から成り立っていること、返還された奨学金が、次に奨学金を希望する学生への資金になることを貸与者に理解して頂き、これからも継続することが重要だと考えます。

現在、約半数の学生が日本学生支援機構など何らかの奨学金貸与を受けている現状からして、今後、同窓会奨学基金への期待はますます高くなると思われます。

卒業記念品を大学へ贈呈

平成24年度卒業記念品として、テント1張を大学に寄贈しました。琵琶湖ホテルで開かれた卒業記念パーティで、卒業生代表から牛尾郁夫学長に目録が贈呈されました。



短信

グループ展補助金制度・クラス会補助金制度について

成安造形大学同窓会では、グループ展やクラス会の開催に対する補助金制度を設けています。申請用紙のダウンロードや制度の詳細は、大学Webサイト [http://www.scian.ac.jp/other/dosokai/kaitsuburi/] でご確認ください。また、大学同窓会事務局までご照会いただいても結構です。

住所に関するお問い合わせについて

会員の住所などのお問い合わせについては、ご本人の了解のもとでお教えしています。お問い合わせの際には、学園報をお届けしております宛名ラベル記載の会員番号にて本人確認をさせていただきます。



## 卒業生の現在 File.22

### みやじけいこ [1999年 洋画クラス卒業]

「作品とは何か」。作品を制作し、発表していくなかで、常にその問いが頭の片隅にありました。その答えに近づくために、美術館などで作品を鑑賞する際、もっと過去の作家が考えていた事に近づきたいと思うようになりました。

そこで、「作品鑑賞」のひとつの方法として、鑑賞者の身体感覚を研ぎすまし、それをもとに作品をみることで、作家たちが作品に込めた感覚を体験できるような、すこしだけ特別な作品の鑑賞方法を提案し、2004年からこれまで、ワークショップとして岡山県の大原美術館を中心に、各地の美術館で開催しています。

昨年11月、作品とともにその活動も評価して頂き、滋賀県大津市より文化奨励賞をいただきました。大学卒業以来、住み続けた大津でこの賞をいただけた事は光栄です。現在は2歳児をかかえ、以前のような制作中心の生活ではありませんが、「作品とは何か」という問いを抱えながら、育児とワークショップの活動を通じ、日々を送っています。



後期印象派の作品を見るためのワークショップ(鳥取県立博物館)

## グループ展報告

### 内田晶子 [2011年 イラストレーションクラス卒業]

昨年12月にイラストレーションクラスの同級生7名で、「ふゆのま展」というグループ展を開催しました。会場は京都にあるギャラリー風蝶庵をお借りし、冬をテーマにした作品を展示しました。

会期中、ゆかりの方々やわざわざ作品を見に来てくださった方など、たくさんの方に鑑賞して頂くことができました。また、その場で頂戴した作品に対する感想や批評、お褒めの言葉は、私たち全員にとってかけがえのない励みとなりました。冬の寒い中、わざわざご来場頂いた方々、経験不足を補いご助力くださったギャラリー風蝶庵さんには感謝の気持ちでいっぱいです。もちろん、今回、同窓会にご支援いただいたことも忘れません。本当にありがとうございました。

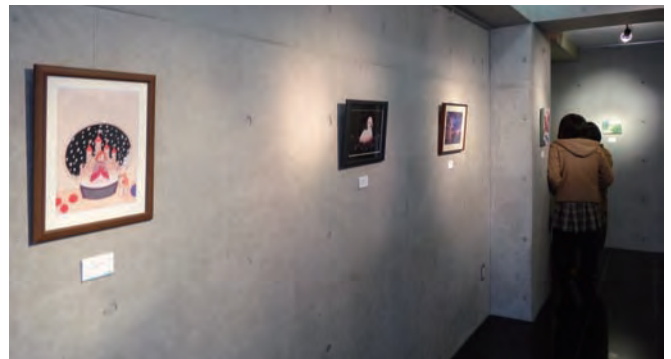
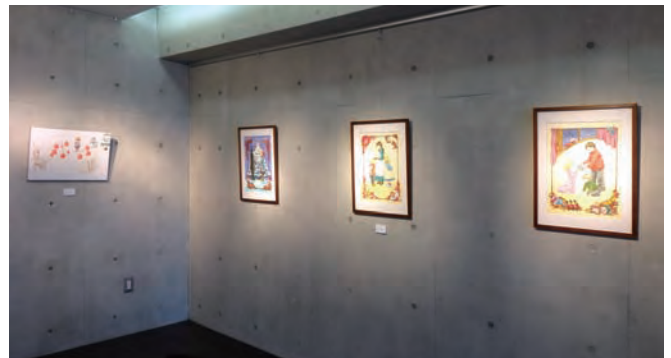
このグループ展で得た経験や大学で学んだ事を糧に、出展者全員、今後も制作活動を続けていきたいと考えています。

### ふゆのま展

会期 | 2013.12.1-12.8

会場 | ギャラリー風蝶庵 / 京都

出展者 | 内田晶子・近藤倫美・有田美香・清原知里・竹内紗織  
程原美和・中村友美・片桐千紘



## クラス会報告

### 大原 歩(旧姓 | 蔭山) [2000年 住環境デザインクラス卒業]

卒業式の翌日3月9日[土]、成安造形大学内カフェテリア結にて、住環境デザインクラス、大岩剛一教授の退任記念パーティーを開催しました。この会には、1期生から19期生までの卒業生および在学生在が参集。夫婦や子供連れ、東京や名古屋など遠方から駆けつけてくれた卒業生もいました。また磯野先生をはじめ昨年退任された人長先生や、講師の先生方も出席され、総勢で100名を超える参加となり、在学中の思い出や社会に出てからの近況話に花が咲きました。

大岩先生も、ひとりひとりからメッセージを受けて、「胸がいっぱいだ。滋賀がかげがえのない場所になった。これからは地域と人とのつながりの中で、みんなとも一緒に仕事ができたら嬉しい」と15年間の教員生活を振り返り、皆へ激励の言葉を語られました。短い時間でしたが、楽しく濃いひとときを過ごすことができました。

### 大岩剛一教授(住環境デザイン)が3月末をもってご退任されました

2月16日[土]に開催された大学主催の退任記念講演会では、大岩先生がこれまで取り組まれてきた「環境に負荷をかけず、人や地域、自然とつながりながら、住にかかわるライフスタイル全般を見直すためのデザイン」を提案する仕事について講演されました。

学生・教職員をはじめ、大岩先生が地域活動でつながりのある関係者らが滋賀や京都、名古屋などから集まり、先生の言葉に耳を傾けました。



会長挨拶

ここ成安は自然写真家今森光彦さんが愛する仰木の里山に面し、少し足を延ばせば京都・奈良の伝統的な美術や現代的な芸術表現に触れることができる創作活動にはまことに恵まれた環境にあります。

芸術を志した子どもたちが社会に出る直前の大切な4年間。この学び舎で教授の指導と職員の皆様のサポートのもと、時に語らい、時に議論しあって自らの表現方法と技術に磨きをかけるとともに、社会人として必要な豊かな人間性を身につけてほしいと、心から願ってやみません。

教育後援会はすべての保護者の力をお借りして、この成安という学びの場を援助していく組織です。本年は開学20周年を迎え、さまざまなイベントが予定されています。成安が新しい一歩を踏み出せるよう、皆さまとともに力をそそいでいきたいと考えております。



成安造形大学教育後援会  
会長 | 吉田 肇

平成25年度 総会報告

成安造形大学教育後援会の平成25年度総会を、平成25年5月18日[土]の成安ホームカミングデー2013のプログラムの一環として、成安造形大学聚英ホールにおいて開催しました。大学からは、牛尾郁夫学長をはじめ5名の役員者が出席、平成25年度事業計画、平成25年度役員・監事選出案など計5議案が審議され、いずれも役員会提案どおり承認されました。詳細につきましては、別刷版「成安造形大学教育後援会 平成25年度総会報告」をご覧ください。併せて、平成24年度会長の宮武昌三氏を本会顧問として委嘱することについての報告もありました。

また、総会の最後に、成安造形大学教育後援会OBOG会さざなみ会の堂本道信会長から、教育後援会とさざなみ会とが互いに協力して大学を支えていきたいという決意表明と、さざなみ会の事業についての紹介がありました。当日は、総会に先立って第1回教育懇談会(個別面談)、総会に引き続いて第1回保護者のための就職セミナーを開催、多くの会員の参加がありました。



平成25年度 総会議案

- 第1号議案 | 平成24年度事業報告(案)
- 第2号議案 | 平成24年度決算報告(案)
- 第3号議案 | 平成25年度役員・監事選出(案)
- 第4号議案 | 平成25年度事業計画(案)
- 第5号議案 | 平成25年度予算(案)

新役員ご紹介

会長	吉田 肇	総合領域 4年
副会長	伊藤佳代子 田中信行	メディアデザイン領域 4年 イラストレーション領域 3年
庶務	布施太嘉幸 武田洋子 鎌田和子	メディアデザイン領域 3年 イラストレーション領域 2年 空間デザイン領域 4年
会計	松井多津子 熊倉 剛	イラストレーション領域 3年 美術領域 1年
監事	西園恵美子 中谷みか	美術領域 4年 メディアデザイン領域 2年

平成24年度 事業報告

平成24年度は、教育懇談会(個別面談)を年間4回、保護者のための就職セミナーを年間3回開催いたしました。

第1回教育懇談会・第1回保護者のための就職セミナー

平成24年5月27日[日]に平成24年度総会にあわせて、成安造形大学にて開催。

第2回教育懇談会・第2回保護者のための就職セミナー

平成24年8月26日[日]に、大阪・梅田にあるハービスPLAZAにて開催しました。就職セミナーでは、「就職活動を振り返って」と題して、卒業生2名を迎え、自身の就職活動の体験談をお話していただきました。

第3回教育懇談会

平成24年10月6日[土]、響心祭(大学祭)にあわせて大学にて開催、30名近い会員から個別面談のお申し込みがありました。個別面談の前後の時間に大学祭の見学もしたいとのことで、遠方からお越しの方もおられました。

第4回教育懇談会・第3回保護者のための就職セミナー

平成25年2月3日[日]、京都市美術館での卒業制作展・進級制作展の最終日に、京都駅前のキャンパスプラザ京都にて開催。就職セミナーでは、千速敏男キャリアサポートセンター長の講演と就職活動に関する事務局からの説明がありました。懇談会終了後、全員で京都市美術館に移動、卒業制作展・進級制作展を鑑賞いたしました。



## 平成24年度 卒業制作展・進級制作展

平成24年度の成安造形大学卒業制作展・進級制作展が、京都市美術館（卒業制作展＋進級制作展|平成25年1月30日-2月3日）、天津市歴史博物館（進級制作展|2月20日-24日）、京都文化博物館（ファッションショー|2月22日）の3会場で開催され、合わせて361名の学生が出品しました。会期中の来場者数は、京都市美術館が3,247名、天津市歴史博物館が584名、京都文化博物館が280名でした。進級制作展の会場となった天津市歴史博物館では、学生の作品とは別に地域連携推進センターによる滋賀県との連携事業を紹介する展示室が設けられ、新聞などで記事として取り上げられるなど、例年以上に反響がありました。

本会では毎年、京都市美術館での卒業制作展・進級制作展最終日に合わせて教育懇談会（京都会場）を開催しており、平成24年度も教育懇談会・保護者のための就職セミナー（京都会場）終了後、会場のキャンパスプラザ京都から貸切バスで京都市美術館に移動し、展覧会を鑑賞しました。



## 平成24年度 卒業式・卒業記念パーティー

平成24年度 第17回卒業証書・学位記授与式が、滋賀県立近代美術館の秋山茂樹館長をはじめ多くのご来賓のご臨席のもと、平成25年3月8日[金]12時30分から、琵琶湖ホテルにて挙行されました。第17期生176名に卒業証書・学位記が、研究生13名に修了証明書が、牛尾郁夫学長から授与されました。また、卒業式に引き続いて学生表彰が行われ、卒業制作展優秀賞・奨励賞・佳作の各賞受賞者の氏名が読み上げられ、学長から各賞の代表者に表彰状と記念品が授与されました。

卒業式・学生表彰後、同ホテルにて卒業記念パーティーが開催され、宮武昌三会長が本会を代表して、挨拶いたしました。



## 平成25年度 入学式

平成25年度の成安造形大学入学式が、平成25年4月1日[月]午後1時から、成安体育館にて挙行されました。牛尾郁夫学長から、新入生199名、3年次編入生5名、研究生11名の入学が許可されると同時に、本会も204名の新入会員を迎えました。

入学式後の保護者ガイダンスでは、学生支援部門からの学生生活ガイダンスに続いて、本会のガイダンスも実施し、宮武昌三会長ならびに事務局から、本会の活動についての説明を行いました。保護者ガイダンスに引き続いて、佐伯チズ客員教授のミニ講演会を開催しました。



## キャリアサポートセンターからのご報告とお願い

昨年度も、開学以来最高の内定率となりましたが、依然厳しい状況が続いております。本学では、1年生から将来の進路に対する意識づけを行い、3年生の実践的な就職対策までを「キャリアデザイン特講」とし、正規科目として開講しております。また、筆記対策やポートフォリオ作成などの「演習」やメイク、グループ面接などの「就活サポート講座」も実施してまいりました。なお、授業以外でも随時、履歴書・エントリーシートの添削や模擬面接なども行っております。

これらの受講やキャリアサポートセンターの積極的な利用の働きかけを、ご家庭でもご指導いただきますよう、お願いいたします。

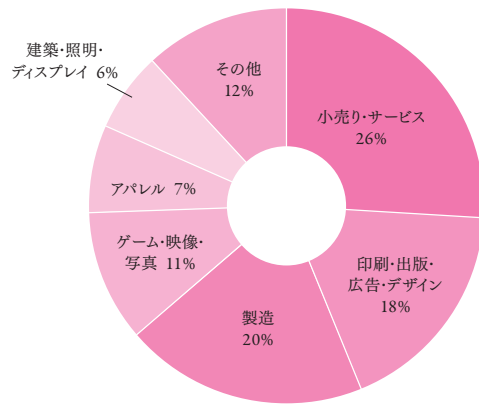
### 主な就職先

タナックス、カミオジャパン、クーリア、不二印刷、大阪シーリング印刷、カブコン、カム、トランスコスモス、ワールドストアパートナーズ、夢展望、伊藤軒、エンゼルプレイングカード製造、太陽精機、セブンイレブン・ジャパン、ロイヤルホームセンター、富山市役所、天津市歴史博物館、アイレムソフトウェアエンジニアリング、奈良規松緑化、京都たつた舞台、アイネックス、黒田デザイン事務所

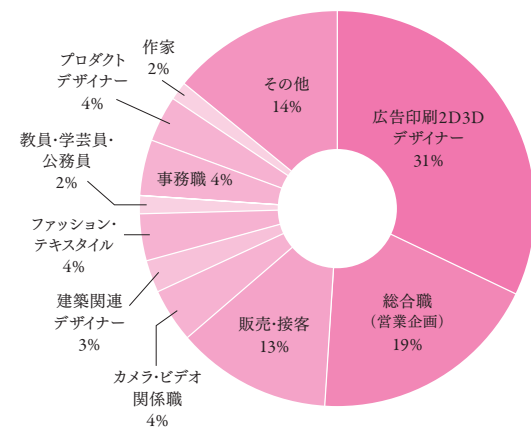
### 主な進学先

京都市立芸術大学大学院、和歌山大学大学院

### 平成24年度（業種）112名



### 平成24年度（職種）112名



### 平成24年度 進路状況（平成25年5月1日現在 単位：人）

学部・学科	卒業者数	就職				進学		その他		
		希望者数	内定者数	内定率 (対就職希望者)		希望者数	決定者数			
				24年度	23年度				24年度	23年度
デザイン科 計	155	125	101	81%	80%	65%	60%	1	0	29
造形美術科 計	23	12	11	92%	100%	48%	70%	2	2	9
造形学部 計	178	137	112	82%	83%	63%	61%	3	2	38

平成25年度総会報告

成安造形大学教育後援会OBOG会さざなみ会の平成25年度総会(通算第1回)を、平成25年5月18日[土]に成安ホームカミングデー2013の一環として、成安造形大学にて開催いたしました。本会は、平成24年8月の設立発起人会にて発足しましたので、今総会が初めての総会です。総会では、平成24年度事業報告案をはじめ5つの議案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。詳細につきましては、別刷版「成安造形大学教育後援会OBOG会さざなみ会 平成25年度 第1回総会報告」をご覧ください。



研修旅行

24年度は「湖東の古寺」

本会の事業である平成24年度研修旅行は、「師走に巡る湖東の古寺」というテーマで、平成24年12月8日[土]に、本会会員のみならず教育後援会、聚英会からも申し込みがあり、30名が参加して開催しました。大津駅前を出発し、「臨濟宗永源寺派総本山 永源寺」、「聖徳太子開基 馬の寺 石馬寺」、「近江西国三十三カ所霊場 阿育王山 石塔寺」という湖東の古刹を、成安造形大学附属近江学研究所の加藤賢治研究員の解説を聞きながらバスで巡りました。

25年度は「近江・ヴォーリズを訪ねて」

平成25年度の研修旅行は、平成25年11月9日[土]に、人長信昭成安造形大学名誉教授を講師に迎えて、「近江・ヴォーリズを訪ねて」というテーマで、米国人建築家・ウィリアム・メレル・ヴォーリズ(1880-1964)の足跡が残る堅田や近江八幡市周辺を中心とした研修を行います。パンフレットを同封いたしておりますので、お誘い合わせの上、是非ご参加下さいますようお願いいたします。



会員向け生涯学習講座

信楽陶芸教室を開催

本会主催の会員向けの生涯学習講座(第1回)「信楽陶芸教室」を、平成25年6月8日[土]に開催いたしました。会場の信楽焼窯元 澤善(滋賀県甲賀市信楽町勅旨)にて、電動ろくろを使った陶芸、信楽名物「狸」や食器などへの絵付け体験をしました。初めての講座ということもあり、参加者は13名でしたが、大変好評で参加者からは再度の開催を望む声が多くありました。第2回生涯学習講座は、平成25年10月5日[土]に「デジタルカメラ写真教室」を開催いたします。会場は、本学ならびに周辺で、パンフレットを同封いたしておりますので、お誘い合わせの上、是非ご参加下さいますようお願いいたします。

役員の一部変更について

平成25年度総会において、幹事を兼務していた中村俊策副会長の幹事兼務を解き、教育後援会の平成24年度会長であった宮武昌三氏を新たに幹事に選出しました。

短信

附属図書館の利用について

さざなみ会会員の方は、研究・調査・学習が目的であれば、成安造形大学附属図書館を利用することが出来ます。詳細につきましては、大学のwebサイトまたは成安造形大学附属図書館[077-574-2111(大学代表)]まで。

\*利用には登録手続きが必要です。最初に来館される際に、住所記載の身分証明書(運転免許証など)をお持ち下さい。

近江学フォーラム

成安造形大学附属近江学研究所が運営する近江学フォーラム。さざなみ会会員の方は、年会費3,000円(通常5,000円)の優遇制度が適用されます。滋賀県(近江)の持つ豊かな自然や歴史、文化に対して興味・関心をお持ちの方、ご自身の知識や見聞を深めたいとお考えの方は、是非ご入会下さい。詳細は、大学のwebサイトまたは成安造形大学附属近江学研究所[077-574-2118(直通)]まで。

## 平成25年度 第2回総会報告

京都成安学園役員・教職員同窓会聚英会の平成25年度第2回総会を、平成25年5月18日[土]に成安ホームカミングデー2013の一環として、成安造形大学聚英館大会議室において開催いたしました。

総会では、平成23・24年度事業報告案、平成25年度事業計画案、京都成安学園役員・教職員同窓会聚英会会則改正案の3つの議案が審議され、第3号議案の一部を修正した上で承認されました。詳細につきましては、別刷版「京都成安学園役員・教職員同窓会聚英会 平成25年度 第2回総会報告／京都成安学園役員・教職員同窓会聚英会会則」をご覧ください。



### ご挨拶

聚英会の活動は、学園の外郭団体として発足2年目に当たります。会員諸氏には、お知らせやご案内等は届いていますか。ご意見を戴いておりました会員資格の変更が具体的なものとなり、会員の拡大が見込まれます。

聚英会事務局との連携のもとで活動してまいりました中で、「成安造形大学開学20周年記念募金事業」については積極的にご協力をいただき、この誌面でご協力への御礼を申し上げます。また、20周年記念事業の1つとして、大学在校生・教職員・地域の有志が一つになって開催されました「成安ホームカミングデー2013」には、私も参加させていただきましたが、琵琶湖を眺望するキャンパスでの数々の企画や作品発表は、時代を反映した新しい試みがうかがえました。この催しの中で、会員・卒業生との懐かしい交流の場をも用意して下さったことに感謝しております。

最後に、会員の皆様から学園支援の有意義な情報をお寄せ下さいますことをお願い申し上げます。

京都成安学園役員・教職員同窓会聚英会 会長 | 花山智久

### 大学募集支援事業へのご協力のお願い

本会として、成安造形大学の募集事業を側面から支援すべく、学園の旧役員・教職員である会員の関係者で高等学校などの教員をされている方をリストアップし、その情報を大学に提供する事業を展開しています。平成24年度は12名の教員や学校に関する情報の提供があり、大学にお知らせしました。大学では、入学センターにおいて、提供された情報に基づいて当該教員の勤務されている学校を訪問するなど、募集事業に結び付けました。今後も、引き続き情報のご提供をお願いいたします。

## 短信

### 新入会員のご紹介

今年度、新たな会員をお迎えしました。大岩剛一氏(成安造形大学教授、平成25年3月31日定年退職)

### 大阪成蹊大学の4名の教職員が退職されました

短期大学の設置者変更により大阪成蹊大学に勤務されていた四方功一先生、星野高志郎先生、吉田晃良先生が平成24年度末をもって退職されました。また、同大学の事務職員の藤野一郎氏も、平成24年度をもって退職されました。平成25年3月17日[日]に京都ホテルオークラで送別会が開催され、京都成安学園と大阪成蹊学園から多くの教職員が参加されました。

### 聚英会・京都成安学園 共同企画「学祖・瀬尾チカ先生の足跡を訪ねてー佐世保、五島列島・小値賀島を巡る2泊3日ツアーー」を実施します

会員の皆様には既にご案内をいたしておりますが、本会と京都成安学園との共同企画として、京都成安学園の学祖・瀬尾チカ先生のご生家のある長崎県五島列島の小値賀島(おぢかじま)を訪ねるツアーを、平成25年10月3日[木]から5日[土]の日程で実施します。ツアーでは、学祖のご生家をはじめ、佐世保市内にある「久田学園佐世保女子高等学校」(学祖は同校の前身「佐世保裁縫女学校」に在籍)や、ご生誕地である小値賀島にある「長崎県立北松西高等学校」など学祖に縁のある地を訪れる予定です。

### 会員資格を拡大しました

本会は、第2回総会において会則を改正し、つぎのとおり教職員であった方の会員資格を拡大しました。新しく会員資格を有された皆様方には、共同企画ツアーのご案内と併せて書面にてお知らせしておりますが、会報も今号からお届けいたしております。本会へのご支援、ご協力をお願いいたします。

- ◎専任教員・専任職員であった方  
在籍年数3年以上 [旧会則 | 10年以上]
- ◎特別任用教員・常勤講師・嘱託職員であった方  
在籍年数3年以上 [新設]
- ◎非常勤講師・臨時職員であった方  
会員からの推薦と会長の承認 [新設]

\*非常勤講師・臨時職員であった方を会員に推薦される場合は、聚英会事務局宛に所定の推薦用紙をご請求下さい。

平成25年度 第39回総会報告

平成25年5月18日[土]に成安ホームカミングデー2013が開催され、そのプログラムの中で成安造形短期大学同窓会京の会の平成25年度第39回総会を、成安造形大学において開催いたしました。

総会では、平成24年度事業報告、平成25・26年度役員選出案をはじめとして計6議案が提案され、慎重な審議の結果、いずれも原案どおり承認されました。総会には、学校法人京都成安学園から来賓として山崎清専務理事が出席されました。詳細につきましては、別刷版「成安造形短期大学同窓会京の会 平成25年度 第39回総会報告」をご覧ください。

第39回総会議案

- 第1号議案 | 平成24年度事業報告
- 第2号議案 | 平成24年度会計決算報告
- 第3号議案 | 平成24年度会計監査報告
- 第4号議案 | 平成25・26年度役員選出案
- 第5号議案 | 平成25年度事業計画案
- 第6号議案 | 平成25年度予算案

新役員ご紹介 \*任期 | 平成25年5月19日から平成27年5月18日まで

会長	石神美智子
副会長	中村憲子
会計	中村久美子, 中村幸代
庶務	木村春子, 武藤晶子
会計監査	前田郁子, 西村祐子



平成24年度 響心祭(大学祭)参加報告と  
平成25年度 響心祭参加へのご協力のお願い

本会では、平成24年度も成安造形大学響心祭(大学祭)に参加いたしました。会員、教職員の皆さまには、多くの物品をご提供いただき誠にありがとうございました。平成24年度は、恒例のバザーに加えて模擬店でも参加、合わせて149,100円の売り上げがあり、収益は87,324円でした。収益は、会に収入として入金し、活動資金に充当いたしました。

平成25年度も、バザーと模擬店で響心祭に参加いたします。今年度の響心祭は、10月13日[日]・14日[月祝]の2日間開催され、両日も出店いたします。会員各位におかれましては、引き続きましてバザーへの出品のご協力をお願いいたしますとともに、響心祭当日のお手伝いをお願いいたしたく存じます。どうぞよろしく申し上げます。

バザー・募集品目

新品未使用の家庭用雑貨、生活用品、小物など(使用期限切れのもの、衣類、食品は不可)。

送付先 | 〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1

成安造形大学 京の会事務局宛

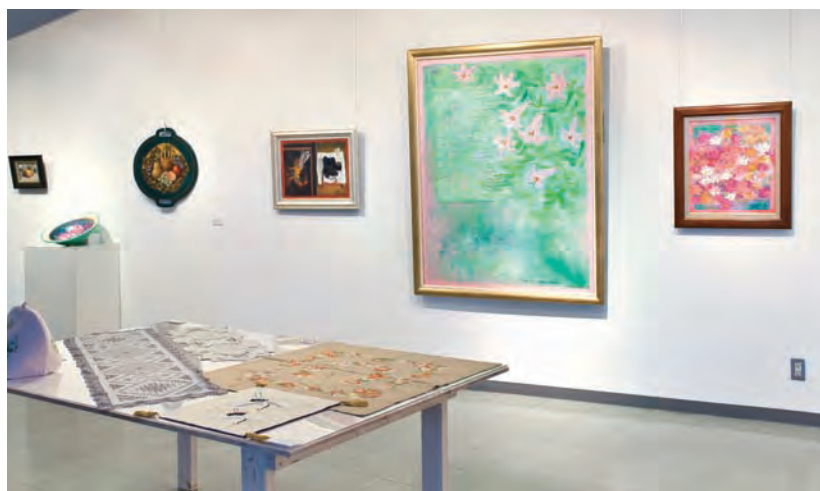
受付締切 | 平成25年10月12日[土]

\*送料は出品者にてご負担下さい。当日の持ち込みも歓迎いたします。

バザー・模擬店スタッフを募集しています

- ◎ 両日もしくはいずれか1日でも構いません。
- ◎ 出店時間(参加時間は応相談)
  - 13日[日] バザーは12:00-18:00, 模擬店は12:00-20:00
  - 14日[月祝] バザーは12:00-18:00, 模擬店は12:00-19:00
- ◎ お申し込み、ご相談は、京の会事務局まで。





## 京の会公募展

### 第2回 公募展報告

第2回 京の会公募展を、「キャンパスが美術館」スパイラルギャラリーにて開催いたしました。今年度は、平成25年1月18日[金]から27日[日]までの会期で開催、6名の会員の作品を展示いたしました。大学本館棟にあるギャラリーでの開催であったこともあり、非常に多くの方々にご覧いただきました。

### 第3回 公募展のご案内

京の会では、「キャンパスが美術館」にて、第3回京の会公募展を下記のとおり開催いたします。会員の皆様の出展を心よりお待ちしております。

会期 | 平成26年3月24日[月]— 3月29日[土]

時間 | 12:00-18:00(予定)

会場 | 成安造形大学【キャンパスが美術館】スパイラルギャラリー

\*出展を希望される方は、京の会事務局まで公募要項をご請求下さい。

## 短信

### 成安造形大学入学検定料免除制度

成安造形大学では、成安造形短期大学ならびに成安女子短期大学を含む前身の学校を卒業された方の3親等以内の血族ならびに姻族に当たる方が受験される場合、入学検定料35,000円を免除する制度を設けています。3親等とは、卒業生(ご本人)からみて、子・孫・曾孫とその配偶者、兄弟姉妹・甥姪とその配偶者までが含まれます。該当する方が成安造形大学を受験される際には、成安造形大学入学センターまでお問い合わせ下さい。

### 成安造形大学 入学センター

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1

Tel. 077-574-2119(直通) Fax. 077-574-2120

## 京の会へのご寄付のお願い

成安造形短期大学は、大阪成蹊学園への設置者変更とその後の四年制大学への改組転換・廃止により、新規会員の入会が途絶え、会費収入がなくなっています。京の会の運営は、会員の皆様からのご寄付と京都成安学園のご協力によって維持されております。毎年、多くの皆様からご寄付を頂いており、心から御礼を申し上げます。

本会では、引き続き、会員各位にご寄付をお願いいたしております。振込用紙を同封させて頂いておりますので、京の会の維持・発展のために会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。寄付金についてのお問い合わせは、京の会事務局までお願いいたします。

## 各種証明書の発行について

成安造形短期大学(前身の成安女子短期大学等を含む)卒業生の卒業証明書や成績証明書など各種証明書のお申し込み先

大阪成蹊大学 教務部 証明書係

〒533-0007 大阪市東淀川区相川 3-10-62 Tel. 06-6829-2538

\*平成24年度から申込先が変更されています。ご注意ください。

\*京の会の本部和事務局は、成安造形大学(滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1)に置かれ、事務局は大学の総務部門が担当しています。

## 成安造形大学開学20周年記念事業募金にご協力下さい

会員の皆様には、大学より既にご案内を差し上げておりますが、大学では今年度、成安造形大学開学20周年記念事業が展開されており、引き続き記念事業募金を募集されています。本会も、この記念事業の推進に協力しておりますので、会員の皆様におかれましては、記念事業募金へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 京都成安学園の概要

### 京都成安学園の発祥と学祖

京都成安学園は、大正9(1920)年、学祖 瀬尾チカ先生が京都市に「成安裁縫学校」を設立したことを発祥としています。以来、今日まで、設置したすべての学校に、建学の精神である「成安」という名称を冠しています。

### 京都成安学園 建学の精神「成安」

京都成安学園 建学の精神、その由来は「成安」の名にこそある。「成」とは、成し遂げること。「安」とは、安寧であること。

つまり「成安」とは人の和を大切に、一人ひとりが自己の使命を追求し、全うし続けることを通じて、心安らぐ平和な社会をつくることに貢献するという意味である。

### 京都成安学園 校訓—学祖のことば「誠と熱」

「誠と熱」とは、学祖・瀬尾チカが強い信念と行動力で人生を切り拓いた自らへの証であると同時に、真摯さを失わず、弱者への想いを抱き続けるという誓いの言葉である。

さらにこの言葉は、成安に集う者たちの心をひとつにする学園の訓でありながら、それぞれの人生の長きを、正しく強く生きぬく力を授けてくれる。そしてその力こそが、学園のみならず広く社会を豊かにするのだと。

### 設置する学校

成安造形大学

基本理念(教育理念) | 「芸術による社会への貢献」

学部・学科 | 芸術学部芸術学科

開設 | 平成5年

所在地 | 〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1

定員 | 820名

現員 | 814名(平成25年5月1日現在)

成安幼稚園

教育目標 | 「心豊かな子どもを育てる」

開設 | 昭和50年

所在地 | 〒617-0002 京都府向日市寺戸町八反田 32-1

定員 | 314名

現員 | 201名(平成25年5月1日現在)

## 成安造形大学開学20周年記念事業募金

### 成安造形大学開学20周年記念事業募金のご案内

成安造形大学では、開学20周年を迎えるに当たり、日夜制作活動に勤しむ学生諸君の「home」である大学での活動を支えるべく、厚生施設を改良しその快適性を向上するとともに機能性の充実を図ることといたしました。開学20周年記念事業のテーマである「home」を連想させるような居心地の良い施設に現在の食堂棟をリニューアル。食堂・購買のサービス充実とリラクゼーションスペースの創造など、その快適性・利便性の向上を図るとともに、自由で自主的な創作活動や文化芸術活動を支える多目的空間としての機能を付加し、学生の多様なニーズを満たす棟全体の機能性の充実と向上を図ります。

つきましては、本学、本学園を支えていただいている皆様方、広く社会の志のある方々ならびに教職員にご寄付をお願いいたしたく存じます。諸事ご多端の折り誠に恐縮には存じますが、本募金事業の趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

成安造形大学開学20周年記念事業募金委員会 委員長 | 牛尾郁夫[成安造形大学学長]

### 募金概要

総事業費 | 30,000千円 募金目標額 | 20,000千円 募集期間 | 平成26年3月31日まで 募金種別 | 個人1口 5,000円 法人1口 10,000円

\*1口未満の募金もありがたくお受けいたします。また、3回まで分割してご入金いただくこともできます。

### 申込・払込方法(個人の場合)

本年4月にお届けいたしております「募金のご案内」の中の「寄付金申込書」と郵便局の「払込取扱票」にてお願いいたします(寄付金申込書は必ずご返送下さい)。また、手続きなどが便利な本学webサイト[www.scian.ac.jp]からのクレジットカードによるご寄付も可能ですので、是非ご利用下さい。法人からのご寄付についてもお受けいたしますので、募金事務局までお問い合わせ下さい。

### 成安造形大学開学20周年記念事業募金事務局

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1

Tel. 077-574-2111(代表) Fax. 077-574-2120 E-mail. soumu@scian.ac.jp

## 各団体事務局からのお知らせ

- ◎お名前やおところの変更、おくやみについてのご連絡をお願いいたします。
- ◎大学同窓会では、会員の慶弔に際して電報をお届けいたしております。ご結婚の際などは事務局までお知らせ下さい。
- ◎大学同窓会、京の会では、会員の皆様から、同期会、クラス会、展覧会、入選・入賞などの情報の提供や投稿などをお待ちいたしております。
- ◎各会事務局へのご連絡は、「郵便」「電話」「Fax」もしくは「E-mail」にてお願いいたします。
- ◎各会事務局へのご連絡に際しては、「大学同窓会事務局」「教育後援会事務局」「さざなみ会事務局」「京の会事務局」「聚英会事務局」と明記して下さい。

### 事務局連絡先

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1 成安造形大学 ○○○会事務局(各会事務局名を明記して下さい)

Tel. 077-574-2111(代表) Fax. 077-574-2120 E-mail. soumu@scian.ac.jp

### 個人情報の取り扱いについて

各団体の会員情報は、各会と学園において共同で管理しています。学園では、情報セキュリティ基本規程などに基づいて情報を保全しています。詳細については、大学のwebサイトにてご確認ください。大学同窓会事務局、京の会事務局、聚英会事務局では、皆様のご連絡先に関するお問い合わせについては、ご本人の了解がある場合に限りお伝えしています。

\*各会事務局へのご連絡の際は、おところ、お名前、会員番号を明記して下さい。会員番号は、学園報をお届けしている封筒の宛名ラベルに印字しています。